

O's NEWS



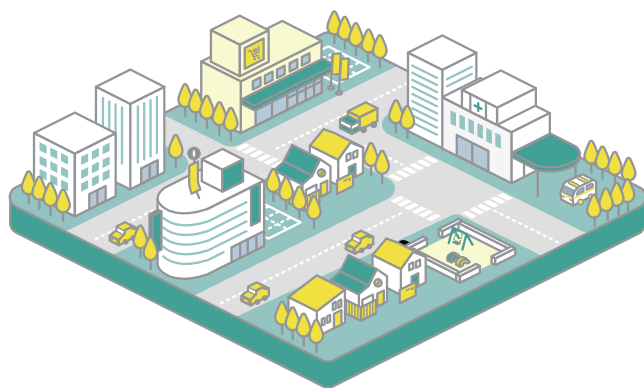
脳卒中診療のセンター化構想が始まっています

～ 一次脳卒中センター（PSC）コア施設認定を受けて ～

副院長 脳卒中センター長 大西 宏之

当院は、2019年9月に日本脳卒中学会から24時間365日（24H／7D）脳卒中患者を受け入れ、患者搬入後に速やかに診療（rt-PA静注療法を含む）を開始できる「一次脳卒中センター（PSC: Primary Stroke Center）」として認定されております。そしてこの度、rt-PA静注療法に加えて機械的血栓回収療法の治療実績や診療体制をもとに常時（24H／7D）機械的血栓回収療法が行える「PSCコア」（地域において中心となるPSC施設）として認定されました。この「PSCコア」とは、機械的血栓回収療法を実施できない施設から、このような治療が必要な患者を常時受け入れる体制が必要で、さらには、整備の一環として、急性期治療の提供のみならず、脳卒中

患者に対して医療及び介護に関する適切な情報提供を行う「脳卒中相談窓口」を設置し、地域の総合的な脳卒中センターとしての活動も求められています。当院は、脳卒中相談窓口を設置し、脳卒中専門医を中心に、脳卒中認定看護師、社会福祉士など脳卒中相談員によって様々な事例に対して対応致します。お気軽にご相談ください。



【PSCコア認定基準】一次脳卒中センター（PSC）コアは下記の5項目をみたすことが求められる

1. 一次脳卒中センター（PSC）に認定されていること
2. 日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上であること
3. 血栓回収治療実績が年間12例以上あること
4. 自施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
5. 脳卒中相談窓口を設置すること



脳卒中相談窓口

脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師
回復期リハビリテーション病棟 看護師長 米田 芳子

脳卒中の専門病院として、この明石地域を中心に活動させていただいている当院は、2019年度より「一次脳卒中センター（PSC）」として高度な脳卒中治療ができる専門病院としての役割を担い活動を行って参りました。さらにこの度、2022年度から開始された「一次脳卒中センター（PSC）コア病院」としても認定され、「脳卒中相談窓口」を開設する運びとなりました。

「脳卒中相談窓口」とは、どのような役割をするのか？

脳卒中の患者さんやご家族の相談に多職種で対応し、情報提供や相談支援を行えるところ です。（ちなみに当院は今年度、脳卒中療養相談士として学んだスタッフが12名在籍しております。）

脳卒中という病気は、多岐にわたり情報の共有やコーディネートが必要となることが多いです。症状は、運動麻痺や失語、嚥下障害など、さまざまです。

最小限の後遺症であっても、それぞれの生活の再構築を余儀なくされます。どんなに素晴らしい治療やリハ

ビリを受けて身体的な回復が見込めても、長い経過の中でいろいろな悩みや不安が生まれることも多いと思います。そんな時に患者さんやご家族が遠慮なくなんでも気軽に相談できる場所をまずは目指していきたいと思っております。

一次脳卒中センター（PSC）が設置され、「Time is brain」の言葉の通り脳卒中という病気はより早く治療が受けやすくなりました。それは、後遺症を最小限にできる可能性が大きくなることにもつながります。

そして、この度コア病院として認定され、急性期の治療だけでなく回復期や維持期が連携することで、地域の中で患者さんの情報を共有しシームレスな治療やケアをコーディネートすることは今後の当院の役割であり課題となります。

まだまだ整備中ではありますが、地域のみならずと協力し脳卒中の患者さんやご家族の方が安心して生活できるように努めていきたいと思っております。

NEW STAFF



脳神経外科医長

吉村 亘平

(よしむら こうへい)

所属診療科 脳神経外科

趣味 スキー、ゲーム

PROFILE

出身地 愛知県

専門分野 脳神経外科全般

認定資格 医学博士、脳神経外科専門医

所属学会 日本脳神経外科学会学術評議員

日本脳腫瘍学会

日本脳神経血管内治療学会

日本脳卒中の外科学会

興味のある分野 脳腫瘍、脳神経外科救急

患者さまへの一言

患者さま及びその御家族にとって最も良い医療を提供できるよう日々心掛けています。

二十四節気と七十二候のお話

1月(睦月)

親戚や知人が仲睦まじく集うことから「睦月」に。元旦の朝に昇る「初日の出」に今年一年の幸せを祈ります。



二十二節気
とうじ
冬至

1/1~4(六十六候) 雪下麦出 / ゆきわたりにてむぎいずる

新しい年の始まり。雪の降る地方では、その下で麦が芽を出しはじめます。お正月を祝うお雑煮、日本全国東は角餅、西は丸餅その境目は、関ヶ原の合戦の岐阜県あたり。人口の多かった江戸を中心とした東日本では、一度にたくさん作れて運びやすい角餅が広まったとも。味も白味噌ベースの西、しょう油ベースの東に分かれますね。



二十三節気
しょうかん
小寒

1/5~9(六十七候) 芹乃栄 / せりさかう

一年の無病息災を願う「七草粥」。大阪今宮戎神社や西宮神社で1/10に行われる「十日戎」。「商売繁盛、笹をもってこい」♪のかけ声にあわせて、鯛や小判をつけた福笹、熊手を買い求める参拝客であふれます。



1/10~14(六十八候) 水泉動 / しみずあたたかをふくむ

寒さはまだまだこれからですが、氷の中ではかすかな春の兆しが一。日本人は、移ろう季節の気配を感じとり楽しむ能力の豊かな民族ですね。梅に似た蟬(ろう)のような黄色の花「蟬梅(ろうばい)」、うつむき気味に枝先でほころびます。花言葉は「ゆかしさ」「慈しみ」。



1/15~19(六十九候) 雉始雉 / きじはじめてなく

雉の恋の季節。ケーンケーンと雄の声。美味しい「たらこ」。冬(11~1月)がスケトウダラの産卵期にあたり、大きく旨味も凝縮します。ちなみに「明太子」のお話。朝鮮語で「スケトウダラ」を「明太」と呼びその卵なので「明太子」。唐辛子で漬けたので「辛子明太子」というわけです。



「寒の内」と呼ばれる「小寒」と「大寒」の頃、寒仕込みの味噌や日本酒、寒晒しの凍り豆腐などが作られます。



二十四節気
だいかん
大寒

1/20~24(七十候) 款冬華 / ふきのとうはなさく

キク科のフキノトウ。ほろ苦さとその香りは天ぷら、おひたしに♪冬の夜空、星の瞬きが際立つ季節、冬の星座の代表格は南の空のオリオン座。サソリの毒により命を落とし星になった「オリオン」。ギリシヤ神話の狩人の名前です。和名は「鼓星(つつみぼし)」。オリオン座を結ぶと中央がくびれて鼓(つつみ)のように見えますね。



1/25~29(七十一候) 水沢腹堅 / みずさわあつくあたし

流れる川の水も凍る程寒いという意味。蛍光灯の下でも花を咲かせるといわれる「セントポーリア」。環境に合えば通年窓辺で花を楽しめます。和名は「アフリカスミレ」花言葉は「小さな愛」。

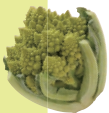
明るい色の帽子やマフラー、冬のおしゃれを楽しみましょう。

季節の野菜

「カリフラワー」

アブラナ科一年草
和名「花椰菜(はなやさい)」 原産 地中海東部

「畑のビタミンC」と呼ばれる「カリフラワー」はビタミンCが豊富です。同じ仲間のブロッコリーもビタミンCが豊富ですが、ゆでるとブロッコリーのビタミンCは失われやすいのに対し、カリフラワーはゆでても損なわれにくい特徴が♪栽培の際はなるべく日にあたらないよう、まわりの大きな外葉で包んで育て、冬が旬の野菜です。オレンジ、紫色や「ロマネスコ」と呼ばれるカリフラワー×ブロッコリーの品種も。茹でるときに少量の酢を加えると、きれいな白色に♪



外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1 診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	高橋<血>	大西(宏)<血>	久我	茶谷	河田
2 診	午前	高橋<顔>	砂田	角田	富士井	担当医<血>
	午後	吉村	砂田	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3 診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5 診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6 診	午前	—	脳神経内科 小坂田	脳神経内科 赤谷	脳神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本 脳神経内科小坂田<FUS>	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 脳神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30

※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木

(2023.1)

※第1・3週金曜日9:30~12:30、13:30~16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.15

平崎内科循環器科 クリニック

院長:平崎 智士



平崎 智士 医師 名生 諭史 医師

【認定資格・所属学会】日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会総合内科専門医、日医認定産業医、医学博士

【診療科目】循環器内科、消化器内科、心臓血管外科、在宅医療

【住 所】明石市魚住町錦が丘4丁目7番地の2 中西駅前ビル3階

【電 話】078-959-8326

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	/
16:00~18:30	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日



平崎院長からのメッセージ

循環器、消化器専門医2人体制で診療しています。超音波検査や内視鏡検査等を駆使し、専門的医療を行うとともに何でも相談できるクリニックを目指しています。

No.57

フタバ眼科

院長:春藤 真一郎



【認定資格・所属学会】日本眼科学会認定 眼科専門医、日本眼科手術学会、日本眼内レンズ屈折矯正手術学会、日本網膜硝子体学会、眼科光線力学療法(PDT)認定医、トラベクトーム認定医、身体障害者福祉法指定医

【診療科目】眼科

【住 所】明石市大久保町ゆりのき通2丁目2番6号 SHUNDOビル 3階・4階

【電 話】078-935-8628

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00~18:00	※	○	※	○	○	/	/

※手術日:月曜午後・水曜午後 月・水の受付は11:30終了です

休診日:土曜午後、日曜、祝日



春藤院長からのメッセージ

眼のお悩みはございかせんか?少しでも安心して頂けるような目のサポートをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘



ホームページ